
花葉会基金への献金をお願い

花葉会は、会員相互の親睦、研鑽と情報交換を図ると共に、花卉園芸界の発展に寄与することを目的とし、総会、親睦会、研究会、会報、名簿等の発行、功労者の表彰等の事業を行っています。

おかげさまで、多くの方々からのご支援・ご協力により、上記の事業をどうにか円滑に運営しております。

さて、会報「花葉」創刊号等でおりました花葉会基金は、25年目を迎え、平成18年3月現在、2,700万円を超えました。しかし、昨今の低金利の状況では、花葉会がさらに発展し、花葉会の目的を推進するための事業を展開し、情報の収集・交換などにより後輩の育成を行うには、この花葉会基金の充実をさらに図ることが必須であります。

是非、花葉会の趣旨に賛同していただき、献金をお願いしたいと存じます。ご協力のほどよろしく願いいたします。

なお、ご送金につきましては、通信欄に「花葉会基金」と明記の上、郵便振替：東京5 - 13341 花葉会をご利用ください。

花葉会幹事一同

お問合せ：「花葉会」事務局

〒271-8510 松戸市松戸648 千葉大学 園芸学部 花卉園芸学研究室内 TEL: 047-308-8810

編集後記

『花葉』25号では特別寄稿：岩佐吉純氏追悼集を企画。そして25号全ての内容を決め、執筆依頼が済んだあとに、植村猶行氏の訃報が届きました。そのため誌面の都合上、植村氏追悼の原稿は3名の方だけをお願いすることになってしまいました。申し訳ありません。

植村猶行氏は『花葉』創刊に寄与し、本誌の編集人としてご活躍。そして後任の私に、編集の技術を伝授してくださいました。定規とコンパスを手に、編集は算数なのだ、変な納得の仕方

をして笑われたのを覚えています。本誌の編集後記を繰っていくと、平成5年13号の頃のこのようになります。ありがとうございました。次の編集人に引き継ぐまで、がんばります。

「卒業生から電話をもらいます」と話してくださるのは、本誌の若い執筆者選考担当の渡辺均助教授。反響があるとうれしいものです。24号の「園芸をテーマとした絵本を探す」には、「園長が作った絵本ですが…」と、蘭ミュージアム高森(長野県)副園長の小

林重信さんが送って下さいました。

『クレスのランものがたり』全12巻(唐澤耕司/文 鈴木玲子/絵 みらい企画 律)ランの種類が多さ、奇妙奇天烈な花形と受粉の仕組みにおどろかされます。読んでみてください。

花葉会ホームページ(<http://www.kayoukai.net/>)をご活用ください。ホームページへの記事掲載、および『花葉』への寄稿は、花葉会事務局宛、または編集人(E-mail: flower@mua.biglobe.ne.jp)へどうぞ。

花 葉 2006 No.25

平成18年12月10日発行

発行人 安藤敏夫

編集人 山田幸子

発行所 花葉会

〒271-8510 松戸市松戸648 千葉大学 園芸学部 花卉園芸学研究室内

<http://www.kayoukai.net/>

編集 2フローラルプランナーズチーム

写植・印刷 1 インタラクシオン